

イスラエル オリーマンダリンが好調

FreshPlaza 2023年4月4日

オリーマンダリンはグレープフルーツやオレンジに比べて好調

プラネット・イスラエル (Planet Israel) 社のベツァレル・オハナ輸出部長は、今シーズンはオリーマンダリン (Orri Mandarin) がかなり好調だと言い、「当初は傾向が様々であったため、不確実な状態でシーズンが始まった。世界中の干ばつと熱波により世界的な柑橘類の不足が予想された一方、経済的な問題により市場が望ましい需要を獲得できるかどうかについて懸念があった。今までのところ、オリーマンダリンは、グレープフルーツやオレンジなどの他の果実と異なり大変良好で満足している」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

イスラエルからの柑橘類輸出(2月末まで)

%	2020/21	2021/22	2022/2023	
15%	361	271	312	Orange - Shamuti
545%	60	31	200	Orange - Taburi
960%	8	10	106	Kara Kara
-46%	3,513	3,959	2,141	White Grapefruit
-30%	29,121	30,487	21,288	Sunrise (S/R) Grapefruits
-22%	12,898	13,516	10,603	Sweetie
17%	234	262	306	RedSun
467%	28	3	17	Lemon
0%	1			Limquat
-85%	195	175	27	Qumquat
-100%	12	5		Lime
-25%	1,809	3,154	2,353	Mineola
39%	188	946	1,318	Santina
13%	253	411	464	Michal
%-8	117	264	243	Ora Mandarin
8%	46,693	33,379	36,051	Orri Mandarin
13%	293	313	355	Meirav
50%	740	556	832	Odem
-100%	60	47		Easy Peelers (Other)
-67%	720	1,277	427	White Pomelo
-43%	509	556	319	Red Pomelo
-14%	97,813	89,622	77,362	Total

* Source: Et Hadar - Plants.org.il

同社が有利であった点の1つは、今年は米ドルとユーロに対して現地通貨で受け取った金額が増えたことだとオハナ氏は説明する。「オリーの需要は旺盛であったし、シーズン序盤を初めとして価格が大変良かった。為替の観点から「追い風」があった。強い米ドルとユーロに対する国内通貨(新イスラエルシェケル)の安値により、外貨収入に対する国内通貨の金額は多くなった。2月末までのイスラエルからの輸出量は前年比約8%増の約36,000トンであった。まだ十分な需要があり、4月末までオリーマンダリンを輸出する。」

同氏は一方、ヨーロッパと米国への輸送費は非常に多くかかると言う。「弊社の主要な市場はフランス、イタリア、オランダ、カナダ、米国である。一般的に、ヨーロッパの卸売価格は2.00ユーロ/kgを超え、北米では2.80米ドルを超えていた。北米への販売は、輸送費が非常に高いため困難であった。カナダのハリファックス港まで海路で送り、ハリファックスからトロントまで列車で陸送した場合、約15,000米ドルかかった。米国のニューヨークに発送するには約12,000米ドルかかった。」

しかし、どんなに費用がかかっても、北米のオリーマンダリンの取引先は喜んで支払った。オハナ氏は、それは需要の強さを証明していると言う。「米国への輸出では輸送中に冷却処理を施す必要があり、これはより高い水準の規制とより高い輸送コストを意味する。それでも、市場での堅調な需要のおかげで、市場と取引先はこれらのコストを支払うことをいとわなかった。弊社は1月と2月に、はるかに高い費用をかけてオリーマンダリンを空輸でカナダに送った。それは需要の強さを示した。今シーズンは全般的に物流の問題はなかったが、出荷の最盛期には、フランス行きの船に荷を積み隙間を見つけるのに苦労した。ヨーロッパへの輸送コストは、従来よりも約10~20%高く、40フィートの冷蔵コンテナで約3千ユーロであった。」(一部省略しました。)

著者: ニックピーターズ